週休 2 日制確保工事試行要領補足事項（漁港漁場関係（漁港海岸含む）工事）

1 経費補正の実施

当初積算の設計金額において、下記の経費にそれぞれの係数を乗じた補正を行う。

現場閉所実績	労務費	共通仮設費率	現場管理費率
4週8休以上	1.02	1.02	1.03

※材工一式での見積単価及び工場製作工については、労務費の補正対象としない。

※市場単価工種の補正については下表のとおりとする。

	市場単価 補正係数
1 底面工	1.01
2 マット工（アスファルトマット設置・ゴム系マット設置）	1.00
3 支保工	1.02
4 足場工	1.01
5 鉄筋工	1.02
6 吊鉄筋工	1.02
7 型枠工	1.02
8 コンクリート打設工（ポンプ車打設）	1.02
コンクリート打設工（ポンプ車打設以外）	1.02
9 止水板工	1.02
10 上蓋工	1.02
11 伸縮目地工	1.01
12 係船柱取付	1.02
13 防舷材取付	1.02
14 車止・縁金物取付	1.02
15 係船柱撤去	1.02
16 防舷材撤去	1.02

	市場単価 補正係数
17 車止撤去	1.02
18 電気防食取付	1.02
19 防砂目地板取付工（陸上施工）	1.02
20 防砂目地板取付工（水中施工）	1.02
21 吸出し防止工（陸上施工・海上施工）	1.02
22 港湾構造物塗装工（係船柱・車止・縁金物）	1.01
23 ベトロラタム被覆	1.02
24 現場鋼材溶接・切断工（陸上施工・海上施工）	1.02
25 現場鋼材溶接・切断工（水中施工）	1.02
26 かき落とし工	1.02
27 汚濁防止膜設置・撤去・移設	1.01
28 汚濁防止枠設置・撤去	1.01
29 灯浮標設置・撤去	1.01
30 汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船あり・水中目視点検）	1.00
汚濁防止膜保守管理（海上目視点検作業船なし）	1.02
31 異形ブロック製作 型枠工	1.02
異形ブロック製作 コンクリート打設工	1.02
異形ブロック製作 給熱養生	1.01

2 労務単価等の補正の計算仕様について

労務単価の補正

① 労務単価（補正前）

＝所定内労働に対する賃金＋割増賃金

＝労務単価×（1＋K×割増すべき時間数）

※整数1位四捨五入

K：1時間当たり割増賃金係数（職種毎に算出）

② 労務単価（補正後）

＝労務単価×（1＋K×割増すべき時間数）×週休2日の補正係数[1.02]

※整数1位四捨五入

市場単価の補正

① 市場単価（補正前）

＝標準単価 ×（1＋施工規模等補正係数）

※小数1位切捨て。ただし、鉄筋加工組立については単位をtからkgへ変換して採用していることから、小数3位切捨てとする。

② 市場単価（補正後）

＝①施工規模等補正後単価×休日確保補正係数

※小数1位切捨て。ただし、鉄筋加工組立については単位をtからkgへ変換して採用していることから、小数3位切捨てとする。

間接工事費の補正

(1) 共通仮設費率

① 共通仮設費率（補正前）は、現行積算基準に基づいて共通仮設費対象額によって算出された率とする。

共通仮設費率（補正前）の式

$$K_r = a \cdot P^b \quad \text{※小数3位四捨五入}$$

K_r ：共通仮設費率（%）

P ：共通仮設費率の算出対象額（円）

a 、 b ：定数値

② 共通仮設費率（週休2日の補正後）

②共通仮設費率（週休2日の補正後）

＝{①共通仮設費率（補正前）×海上輸送に要する補正係数＋施工地域・工事場所による補正值} ×週休2日の補正係数[1.02]

※{ }は小数3位四捨五入。その後、全体を小数3位四捨五入。

(2) 現場管理費率

① 現場管理費率（補正前）現行積算基準に基づいて現場管理費対象額によって算出された率とする。

現場管理費率（補正前）の式

$$J_o = a \cdot N_p^b \quad ※小数3位四捨五入$$

J_o : 現場管理費率 (%)

N_p : 純工事費 (円)

a 、 b : 定数値

② 現場管理費率（週休2日の補正後）

②現場管理費率（週休2日の補正後）

$$= \{ \text{①現場管理費率(補正前)} + \text{施工地域・工事場所による補正值} \} \times \text{週休2日の補正係数}[1.03]$$

※小数3位四捨五入

3 工事成績評定への反映（要領5 5（3）関係）

現場閉所実績に応じて、工事成績評定で下表の加点や減点を行う。

現場閉所実績	加点
完全週休2日	1点
現場閉所実績	減点
明らかに週休2日に取り組む姿勢が見られなかった場合	-1点